

令和8年度 宮城支部保険者機能強化予算（案）について

1. 支部保険者機能強化予算について …… 1ページ
2. 令和8年度支部保険者機能強化予算（案）について …… 2ページ

1. 支部保険者機能強化予算について

【支部保険者機能強化予算とは】

○ 支部の創意工夫を可能な限り活かしながら、協会の将来的な医療費の節減につなげていくことを目的として設けられている。

【令和8年度支部保険者機能強化予算額】

支部医療費適正化等予算

○ 支部の「医療費適正化対策」及び「広報・意見発信」に対し措置する予算。支部ごとに要求できる予算の上限が設けられ、加入者数を踏まえて設定される。

予算枠 → 15,451千円（令和7年度:15,451千円 前年度比:±0千円）

要求額 → **15,450千円（令和7年度:15,450千円 前年度比:+0千円）**

支部保健事業予算

○ 保健事業における重点的な取組等に対し措置する予算。支部ごとに要求できる予算の上限が設けられ、特定健診の対象となる40歳以上の加入者数を踏まえて設定される。

予算枠 → 75,085千円（令和7年度:75,085千円 前年度比:±0千円）

要求額 → **73,388千円（令和7年度:75,081千円 前年度比-1,693千円）**

特別枠予算

○ これまでの取組等を通じて洗い出された課題など、エビデンスを踏まえた自支部の課題解決に向けた取組であり、かつ医療費適正化または加入者の健康増進に資する取組が対象となる。

医療費適正化等 要求額 → **5,978千円**

保健事業 要求額 → **12,386千円**

2. 令和8年度支部保険者機能強化予算（案）について

(1) 支部医療費適正化等予算

目的	区分	取組名	予算
医療費適正化対策	継続	医療機関及び薬局向け『ジェネリック医薬品使用割合等の「見える化」ツール』の発送	718千円
	継続	医療費適正化事業の効果検証（薬剤関係）	3,630千円
	継続	「上手な医療のかかり方」の広報	4,473千円
広報・意見発信	継続	納入告知書同封チラシなどの紙媒体の広報など	2,140千円
	新規	LINE及びメルマガ魅力度向上コンテンツの作成	4,488千円
支部医療費適正化等予算合計			15,450千円

(2) 支部医療費適正化等予算（特別枠）

目的	区分	取組名	予算
医療費適正化対策	新規	ターゲットを絞った「電子版お薬手帳」及び「OTC医薬品」使用促進	5,978千円
支部医療費適正化等予算（特別枠）合計			5,978千円

2. 令和8年度支部保険者機能強化予算（案） について

(2) 支部保健事業予算

目的	区分	取組名	予算
健診受診率の向上	継続	事業者健診結果データ提供にかかる同意書取得勧奨業務委託 等	9,327千円
	継続	生活習慣病予防健診（被保険者）受診率向上のための取組	2,687千円
	継続	被扶養者の特定健診受診率向上のための取組	6,834千円
特定保健指導の利用促進	継続	特定保健指導周知チラシ等の作成	2,057千円
	継続	医師謝金、保健指導用図書購入費 等	2,502千円
重症化予防	継続	未治療者に対する受診勧奨	14,663千円
	継続	糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	1,865千円
	継続	コントロール不良者に対する個別介入	4,851千円
コラボヘルス	継続	職場健康づくり宣言の普及促進	3,718千円
	継続	職場健康づくり宣言事業所に対するフォローアップ	9,130千円
	継続	業界団体広報媒体を活用した健康啓発	2,486千円
	継続	健康カレンダーの作成	1,588千円

2. 令和8年度支部保険者機能強化予算（案）について

(3) 支部保健事業予算

目的	区分	取組名	予算
健康増進	継続	健診前通知事業	5,335千円
	継続	小学生等への健康教育を通じた健康づくり	1,544千円
	継続	公衆衛生学教授との共同研究、保健事業実施計画アドバイザー料	1,023千円
	新規	ダブルケアに関するアンケート調査事業	3,575千円
保健事業予算合計			73,388千円

(4) 支部保健事業予算（特別枠）

目的	区分	取組名	予算
コラボヘルス	新規	健康宣言事業所等への健康課題に対応した健康動画の案内	6,226千円
コラボヘルス	新規	業界団体と連携した食行動見直し支援	6,160千円
保健事業予算（特別枠）合計			12,386千円